

第6期清水町総合計画(案)に対する意見提出内容

No.	方 法	内 容		担当	検討結果
1	メール	第6編第2章 「地域の潤いにつながる交流の展開」	既存の公共施設の多くが修繕時期にきているため、新たな費用が発生する道の駅の新設を急ぐのではなく、既存の公共施設の修繕、有効活用を中心としたイベントやコミュニティで清水町を盛り上げることはできないか。	関係課	道の駅については、直近での新設予定は無く、既存施設を活用した情報発信拠点の整備から行っていく予定をしております。新設については、町の財政状況を踏まえながら、実施計画の中で今後に向けて検討します。
2	メール	第5編第2章 「快適な市街地と都市計画」	町内に目立つ空き家が多くある。それぞれに持ち主がいるので対策を強要することはできないが、空き家、空き地の有効活用は、定住促進や地域の活性化につながるため、町で力を入れて取り組むべきである。特にリフォームされた一軒家は需要が高いと感じている。	建設課	今後実施予定の「もらえる戸建て制度」を中心とした空き家・空き地を有効活用した移住施策等を実施計画の中で検討します。
3	メール	第6編第1章 「町民主体の住民活動」	他町の例だと町民主体の団体等の発表会を町で定期的実施しており、日常的に町民が交流する機会がある。外出機会の促進や地域コミュニティの強化のため、そのような機会の提供を検討してほしい。外出機会が増えると経済にも良い影響があると感じている。	関係課	住民活動環境の整備も含め、実施計画の中で今後に向けて検討します。
4	メール	第1編第1章 「協働による環境保全」	清水町内には希少な木が多くあり、このようなことを知る機会が少ないと感じている。メガソーラー等の再生可能エネルギーの利用促進により環境破壊が進む場合もある。大切な自然を守っていくためにも進め方にご配慮願いたい。	町民生活課	指摘を踏まえて表現を改めます。再生可能エネルギーの利用促進→自然環境に配慮した再生可能エネルギーの利用促進